

探検の準備①

星空の散歩に慣れてきたら、今度は星空を探検してみましょう。ぶらぶらと眺めるだけでなく、積極的に星空の中に入り込んでいくわけです。きっと、新しい発見がたくさんあります。そのためには、星空散歩で身に付けた知識や手助けしてくれた道具以外に、さらに強力な道具を使わなければなりません。必要な2種類の道具のうち、まずは、力はそこそこだけど、ほとんど準備なしに使える便利な方からご紹介しましょう。それは、“**双眼鏡 (binoculars)**”です。これさえ使いこなせば、神秘の世界を何倍も楽しむことができます。ただし、いくら強力な道具でも自分の身体に合っていないと力を発揮してくれません。ブカブカの靴では速く走れないですよね。しっかり使い方を覚えて、双眼鏡の力を100%引き出せるようにしましょう。

では、これから一緒に双眼鏡の使い方について学んでいきましょう。

1. 双眼鏡とは？

双眼鏡は遠くにあるものを明るく拡大して見る道具です。文字通り、のぞく部分が2つあるので、普段の景色を見るのと同じように両目で星空を探検することができます。対物レンズ側を見たい対象に向け、接眼レンズ側からのぞきます。色々なタイプの双眼鏡がありますが、手に持って星空を観察するなら、倍率が10倍くらいまでのものにしてください。そうでないと、手がプルプルして見ている星がユラユラしてしまいます。10倍以上の双眼鏡を使いたい時は、三脚に取り付けるなどして、手に持たなくてもよい工夫をしましょう。

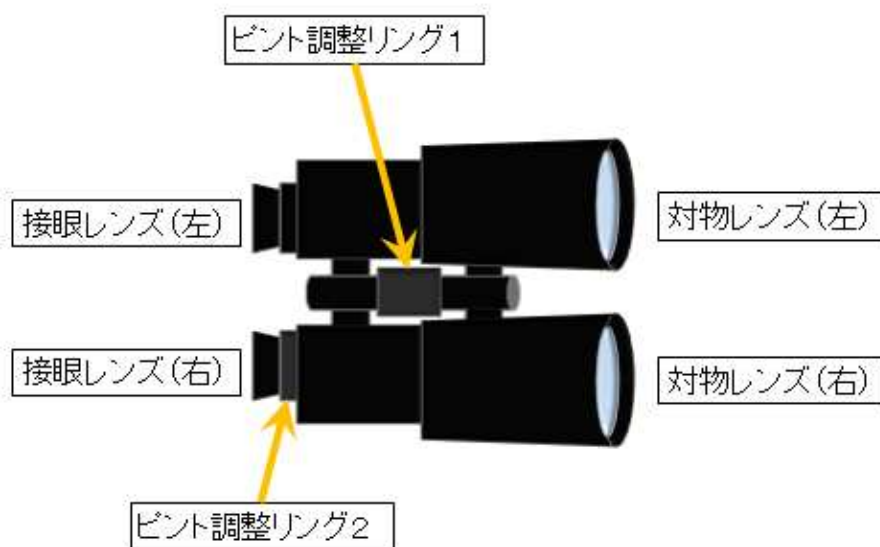


図 1-1 双眼鏡

2. 双眼鏡の使い方

(1) 準備

まずは、道具を自分の身体に合わせます。たいていの人は右目と左目で視力が違うので、双眼鏡のピントも片目ずつ合わせられるようになっていきます。ピントを合わせる時は遠くの景色や星などを見ながら行います。また、双眼鏡によってピント調整の位置が違う場合もあるので、以下を参考にしながら使い方をマスターしてください。

① ピント調整 (左)

左目で左の接眼レンズをのぞきながら、ピント調整リング1 (図 1-1) を回し、一番きれいに見えるところに合わせる。

② ピント調整 (右)

右目で右の接眼レンズをのぞきながら、ピント調整リング2 (図 1-1) を回し、一番きれいに見えるところに合わせる。

③ 目幅調整

両目でのぞきながら、視野がまん丸に見えるように、目の幅を調整する。

(2) 見たいものを見る

準備ができたなら、いよいよ本番です。自分が見たいと思ったものや出会いたい感動を求めて双眼鏡を使ってみましょう。見れば見るほどたくさんの方に気付けると思います。もちろん、あてもなく星空をさまよってみるというのも1つのやり方です。その場合は下の手順は気にせず、自由に双眼鏡を使ってみてください。

① 道具なしに自分の目で見たいものがあるところを見る。

② そのまま目のところに双眼鏡を持ってくる。

③ 見たいものをしっかり観察する。

おまけ : 楽がしたい人や感動を誰かと共有したい人は三脚を使いましょう。

注意！

双眼鏡は光を集める道具です。太陽ほど明るい天体を双眼鏡で見ると、光が集まりすぎて、失明してしまいます (失明しなくても視力低下や目の中を火傷します) ので、決して太陽を見ることだけはしないでください。